

※この用紙はサンプルです。

(実際は、黄色の用紙に印刷して配布します。)

資料5

現時点のあなたの最終意向内容

あなたは 災害公営住宅 を希望されています。

回答内容に変更がある場合、この用紙に朱書きで記入の上、返信してください。変更がなければ返信は不要です。

※1 「希望する土地面積」は、今後の区画割に伴い、供給坪数を多少調整させて頂くことがあります。また、100坪以上の土地をご希望の場合、必ずしもご希望に沿えなかったり、土地の分譲単価が高くなる場合がありますので、ご了承ください。

※2 災害公営住宅は、すべてバリアフリー対応（高齢者の方が生活しやすいつくり）となります。車いすを使用される方のための「車いす対応住宅」を希望される方は、必ず緑色の用紙の必要項目にもご回答ください。

※3 オール電化対応の災害公営住宅は、これまでの意向調査の結果、希望が少なかったことから、現在、建築する予定はありません。現在の建築方針では、全入居者にプロパンガスで対応していただく方針です。

■基本情報

被災時住所	〒●●●	山元町高瀬字●●●	高瀬 地区
氏名（漢字）	山元 太郎		
世帯を分けて転居・転出	する		
災害危険区域	第1種区域		
面談日または提出日	●●/●●/●●	変更申請日	●●/●●/●●

■再建方法 ※記入例をご覧ください。

集団移転		災害公営住宅	
移転希望場所	新山下駅周辺地区	入居希望場所	<ul style="list-style-type: none"> ・新山下駅周辺地区 ・宮城病院周辺地区 ・新坂元駅周辺地区
<ul style="list-style-type: none"> ・新山下駅周辺地区 ・宮城病院周辺地区 ・新坂元駅周辺地区 		間取り	<ul style="list-style-type: none"> 1人：2DKのみ 2人：2DK・2LDK 3人：2DK・2LDK・3LDK 4人：2DK・2LDK・3LDK 5人～：2LDK・3LDK
土地の所有形態 (購入 または 借地)	購入	住宅の形式 (戸建・連棟式・中層集合)	
		払い下げ希望の有無 (戸建の場合に限る)	
※1 希望する土地面積	約 100 坪	バリアフリー希望の有無	(※2)
		オール電化希望の有無	(※3)

単独移転（自力再建）		現地再建	
移転の時期 (移転済み または 予定)		かさ上げ状況	<ul style="list-style-type: none"> ・かさ上げ済み ・かさ上げ予定 ・かさ上げしないで再建
予定の時期	平成 年 月頃	かさ上げをする予定時期	平成 年 月頃
移転（予定）先 (町内・町外・未定)			

※郵送で提出される場合、控えが必要な方は、お手数ですが各自でお取りください。
(役場にお越し頂いて提出される場合は、その場で写しをお渡しします。)

※ この用紙はサンプルです。

(実際は、緑色の用紙に印刷して配布します。)

意向追加確認書

以下の調査は、新市街地への移転を希望される方へ、より具体的なお意向を確認するものです。

●該当する方のみ、A～Eに○をつけてください。希望するものが無い方は、提出不要です。

●回答期限は、8月12日(月)です。(郵送の場合は、必着) 期限内にご回答をいただけない場合、ご希望に沿った対応ができない場合がありますので、ご注意ください。

質問内容(該当する方のみ、ご回答ください。)

A	<p>昨年度の最終意向調査で世帯の分離を希望していなかった方で、 新たに、世帯を分けて転出・転居を希望される方</p> <p>※世帯を分けての転出・転居とは 震災時の世帯から複数世帯に分かれること。 例：震災時に5人で居住していた世帯が、親世帯(夫婦2人)と子世帯(配偶者、子を含む3人)に分かれるケースなど。 <u>※特に希望の無い方は、記入不要です。</u></p>
B	<p>災害公営住宅へ入居を希望している方で、 ペットゾーンへ入居を希望される方</p> <p>※ペットゾーンとは ペット(犬、猫、小動物、ハ虫類、鳥類など)を飼育できる区画を用意します。ペットとの共生を望む方と、ペットが苦手な方などの居住地に、ある程度距離を設けることで、それぞれの生活環境の向上を図ります。 ペットゾーン以外でペットを飼育することはできませんので、ご注意ください。 <u>※どちらでも構わない場合は、記入不要です。</u> <u>※将来ペットを飼うつもりである、現在飼っている場合のみ、○をつけてください。</u></p>
C	<p>災害公営住宅への入居を希望している方で、 車いす対応住宅へ入居を希望している方</p> <p>※車いす対応住宅とは 車いすに座ったまま使用できる台所や洗面台、幅の広い廊下や出入口、ゆとりをもって乗降できる広めの駐車場など、「車いすでの生活」に特に配慮した住宅のこと。緊急通報設備の設置に対応しており、安心してお住まいいただけます。 なお、他の災害公営住宅もバリアフリーに一定の配慮がされており、車いすの使用は可能です。 <u>※現に車いすを使っている方や、将来使うことが予想される方が世帯員にいる場合のみ、○をつけてください。</u></p>
D	<p>町が指定する住宅団地に移転を希望する方で、(災害公営住宅を除く) コミュニティ単位(震災時の行政区)での移転を希望される方</p> <p>※コミュニティ単位での入居とは 震災時に同じ行政区でお住まいだった方々が、それぞれの合意のもと町へ申し出ること、コミュニティ単位でまとまって移転すること。災害公営住宅入居者のコミュニティ形成については、現在、ペア入居による入居方法をご案内しているほか、複数世帯によるグループ入居を検討中です。 <u>※特に希望の無い方は、記入不要です。</u></p>
E	<p>町が指定する住宅団地へ移転を希望されている方で、 移転後に営農用農機具の保有を予定している方</p> <p>※営農用農機具の保有とは 営農用のトラクターやコンバイン等、大型の農機具を保有すること。(家庭菜園用の機具は除く。)ここでのご回答は、交通渋滞の回避や快適な道路環境に配慮した区画割を決定するための参考とさせていただきます。 <u>※特に希望の無い方は、記入不要です。</u></p>

お問合せ先(記入にあたり、ご不明な点がある場合は、以下にご連絡ください。)

A・D・Eについて：震災復興企画課 0223-37-0497

B・Cについて：震災復興整備課 0223-37-0598 ・まちづくり整備課0223-37-5111